

相模原マンドリン倶楽部

第 26 回定期演奏会



第 25 回定期演奏会 撮影 テスムジカ

2010 年 10 月 30 日（土）14:00 開演

グリーンホール相模大野大ホール

後援：相模原市 相模原市教育委員会

♪ ご挨拶 ♪

本日はお忙しい中、相模原マンドリン倶楽部第26回定期演奏会にお越しいただきありがとうございます。ごぞいます。

相模原マンドリン倶楽部は1977年3月に部員13人で創部されました。33年を経過した現在では55人の部員によるオーケストラ編成で合奏を楽しんでおります。当倶楽部の活動拠点である相模原市は本年4月に全国19番目の「政令指定都市」へと発展しています。

33年の「音と響きの積重ね」である「サガミハラ・サウンド」が皆様に届くようにと定演に向けて1年の練習を重ねてまいりました。どうぞごゆっくりマンドリンオーケストラの醍醐味をお楽しみください。

今後ともマンドリン音楽に深いご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

部長 小澤健二郎

♪ 演奏曲目 ♪

第1部

指揮：宮本 皓永

歌劇「後宮よりの逃走」序曲

作曲 モーツァルト

編曲 宮本 皓永

スプレーン（憂愁）

作曲 アマデー

村の新領主

作曲 ポアエルデュー

編曲 宮本 皓永

組曲「白鳥の湖」より抜粋

作曲 チャイコフスキー

情景

編曲 宮本 皓永

四羽の白鳥の踊り

ハンガリー舞曲（チャルダッシュ）

ワルツ

-----休憩 15分-----

第2部

指揮：新井 義輝 客演指揮者

メリアの平原にて

作曲 G. マネンテ

編曲 久保田 孝

小組曲

作曲 C. A. ドビュッシー

小舟にて

編曲 新井 義輝

行列

メヌエット

バレエ

幻想曲第一番

作曲 久保田 孝

♪曲目紹介♪

歌劇「後宮よりの逃走」序曲

作曲 ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

Die Entführung aus dem Serail

Wolfgang Amadeus Mozart (1756~1791)

W. A. モーツァルトはザルツブルクに生まれたオーストリアの作曲家・演奏家で、ハイドン、ベートーヴェンと並んでウィーン古典派三大巨匠の一人です。父・レオポルトは息子が天才であることを見出し、幼少時から音楽教育を与え、5歳のときには最初の作曲を行なっています。父子でヨーロッパ中を回り各地の宮廷で演奏を行なっており、35年の生涯の3分の1を旅行に費やし、多くの素晴らしい作品を残しています。「後宮よりの逃走」は、1782年にブルク劇場(ウィーン)で初演されました。曲はトルコ風のにぎやかな音楽で始まり、転調して先へ先へと進みます。中間に第一幕の最初に主人公ベルモンテの歌うアリアの旋律を使ったゆっくりとした部分をはさんで、前後に軽快な部分がある曲です。

スプレーン(憂愁)

作曲 アメデオ・アマデイ

Spleen

Amedeo Amadei (1886~1935)

A. アマデイは、イタリア・ロレートに生まれた作曲家です。ボローニャ音楽学校を卒業し、各地の陸軍軍楽長を歴任し、早くからマンドリン合奏曲の創作を行い、50曲ほどのマンドリンオーケストラの曲を作曲しています。1909年ミラノのイル・プレットロ主宰の第2回作曲コンクールに一位入賞した「海の組曲」で一躍脚光を浴び、不動の地位を築きました。「憂愁」は1907年にボローニャのマンドリン研究誌「ヴィタ・マンドリニスティカ」に発表された作品です。アマデイのマンドリン曲の特筆すべき点は、優れた楽想と特別の技巧を使わずに豊かなオーケストレーション上の効果をあげるところで、本曲などは典型であるといって良く、美しい作品です。

村の新領主

作曲 フランソア・アドリアン・ボアエルデュ

Le nouveau Seigneur du village

Boieldieu, Francois Adrien (1775~1834)

F. A. ボアエルデュは、19世紀初頭の代表的なフランスのオペラ作曲家です。父はルーアンの大司教書記を務めており、幼少時は教会の聖歌隊に所属し、オルガン奏者のプロシュから音楽を学び、この少年期に受けたプロシュからの教えが一番大きいと言われています。10代で二つのオペラを作曲して音楽家としてのキャリアを開始し、喜歌劇「ベン・ノヴスキー」「バグダッドの太守」で大成功を収めました。当時の最も優れたオペラ作曲家といわれたケルビーニの助言を受入れて本格的な作曲技術を習得し、代表作となる「白衣の夫人」を発表しています。フランスの王制復古期におけるオペラ・コミックの代表者であり、オペラ・コミックの様式を確立しました。「村の新領主」は、1813年の作品です。

組曲「白鳥の湖」より抜粋

作曲 ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

Swan Lake

Peter Ilyich Tchaikovsky (1840~1893)

P. I. チャイコフスキーは、ロシアの作曲家です。親しみやすい作風から、クラシック入門の企画などで採り上げられる事が多い作曲家です。叙情的で流麗・メランコリックな旋律や、絢爛豪華なオーケストレーションが人気の要因となっています。バレエ音楽が有名で

特に「白鳥の湖」、「眠れる森の美女」、「くるみ割り人形」の3曲は、チャイコフスキーの三大バレエといわれ、その旋律は世界中で知られています。「白鳥の湖」は、1877年モスクワ・ポリショイ劇場バレエ団にて初演されました。本作品を代表する曲として、第2幕の「情景」が良く知られていますが、本日は、他に、「四羽の白鳥の踊り」、「ハンガリー舞曲(チャルダッシュ)」、「ワルツ」を抜粋し演奏いたします。

メリアの平原にて

Sulla Piana della Melia

作曲 ジュゼッペ・マネンテ

Giuseppe Manente(1867~1941)

G・マネンテは、イタリアの指揮者で作曲家です。幼少から音楽を好み、ナポリ・ローマで音楽を学びました。王立陸軍軍学校卒業後、各地の軍楽隊長を歴任し、マンドリン合奏曲他多数の作品を残しています。「メリアの平原にて」は、1909年ミラノの「イル・プレットロ」主催の第2回作曲コンクールで第2位に入賞した作品です。日本でも、マンドリン合奏曲の名曲として知られています。メリアはイタリア本島の西に位置する風光明媚な小高い丘で、戦時中軍隊はこの丘で休憩をしたと言われています。激戦の思い出の激しい主題の後に、一時の安らぎを感じさせるマンドリンのテーマを各パートで交互に受け継ぎ、そして最後の Allegro vivace は最高のテクニックを要する難曲です。

小組曲

Petite suite

作曲 クロード・アシル・ドビュッシー

Claude Achille Debussy(1862~1918)

C. A. ドビュッシーは、フランスに生まれた作曲家です。ドビュッシーの音楽は、長音階・短音階以外の旋法の使用、自由な和声法など特徴的な作曲技法から、「印象主義音楽(印象派)」と称されることもあります。小組曲は、もともと4手ピアノ(2台のピアノと2人の奏者)用に作曲された、その名の通りの「小さな組曲」で、4つの小曲からなっています。そのうち、第1曲「小舟にて」と第2曲「行列」の題名は、ドビュッシーが敬愛していたフランスを代表する詩人の一人、ポール・ヴェルレーヌ(仏:1844-1896)の詩集「艶やかなる宴(雅な宴)」の中から取られたものといわれています。親しみやすい旋律をもった4つの小曲から成り、全曲を通じて、ゆるやかな、情感にあふれた親しみ深い作品です。

幻想曲第一番

作曲 久保田 孝

Takashi kubota (1942~)

久保田孝氏は、東京生まれ、ウイーン国立音楽大学指揮科卒業、ハンス・スワロフスキー、アルテール・グリュバー、三石精一の各氏に師事、帰国後、東京フィルハーモニー交響楽団他多くの著名な楽団を指揮されております。マンドリン界では、1976年より7年間、青少年音楽祭、JMJコンサートのマンドリン部門の指揮を務められました。「Kubota Musik Akademie」、「KUBOTA PHILOMANDOLINEN ORCHESTER」を主宰され、後進の指導にも力を注がれています。久保田氏はマンドリン属の奏法を明確にし、その実践を図る為の活動と、その背景から生み出された作品を多く出され、これらの作品にはマンドリン属の楽器の為のあらゆる可能性が盛り込まれています。この曲もその一つであり、1984年に初演されました。

(参考資料として、ウイキペディア、久保田孝WEB site、CD「久保田孝作品集」、より引用致しました)

♪ 客演指揮者紹介 ♪

新井義輝氏は、明治大学商学部及び東京音楽大学指揮科卒業。音大在学中から各地の市民オペラやオーケストラをはじめとする幅広い分野での指揮、指導にあたる一方で、新国立劇場、日本オペラ協会などの団体でオペラ指揮者としての経験を積んでいます。ミュージカルの分野でも劇団四季などの上演に携わり、2003年からは国内外で活躍するプロ音楽家で結成したプロ音楽集団「チェンバーミュージックハウス」を主宰しています。その他オペラ演出や主にマンドリン音楽の作曲・編曲も手掛けるなど、積極的に活動の幅を広げています。指揮は三石精一、久保田孝の各氏に師事。

♪ 活動レポート ♪

- 2009年 9月19日(土) 第25回定期演奏会(川崎市麻生市民会館ホール)
12月12日(土) 納会
- 2010年 3月7日(日) 第22回大野中公民館まつり参加(相模原市立大野中公民館)
4月11日(日) 第29回神奈川マンドリンフェスティバル参加(横浜市栄公会堂)
5月25日(土) 2010年度定期総会(大野北公民館)
9月19日(日) 終日練習(グリーンホール相模大野)
10月9日(土) 終日練習(座間ハーモニーホール)
10月23日(土) 終日練習(グリーンホール相模大野)
10月30日(土) 第26回定期演奏会(グリーンホール相模大野大ホール)

♪ 練習風景 ♪



現在55名の部員がおり、年齢層も広く多様な職業に就いている忙しい人の集まりです。月3回の練習を行っていますが、参加率は平均80%以上と高くマンドリン音楽を楽しんでいます。皆さんも仲間に入り演奏してみませんか。お待ちしております。写真は定演前の練習風景です。

メンバーの紹介 ♪

conductor 宮本 皓永 新井 義輝

◎トップ ○サブトップ ☆賛助出演

1st Mandolin	◎窪田成子 川崎紘子 吉岡直美	○山崎了三 中重亜由美 吉野昌重	綾部文子 仁尾眞里	石本友子 舟田徳穂	梅澤典子 木田絹子
2nd Mandolin	◎池田百合子 後藤ケイ子 樋口三朗	○藍澤桃子 田嶋稔一 福谷隆治	饗庭裕子 戸田節子 渡辺礼子	京増万由美 長澤直子	桑田久美子 長沼美智子
Mandola	◎寺田美千代 野沢孝広	○大熊友子 笛木和美	金澤葉子 古田栄治	大矢利夫 峯田福代	岡林誠士 宮下和子
Mandolon-cello	◎井上昌子 錦戸民子	○飯田正男 宮本皓永	市川久美子	小澤健二郎	中井顕成
Guitar	◎宮本紀子 中西茂樹 和田真紀子	○田中厚子 新田美佐子	池上由子 原田治	加登文子 柳生秀人	中嶋捷生 吉田真紀子
Contrabass	◎錦戸雅子	○鈴木保彦	☆佐藤文俊		
Percussion	☆与儀祐佳	☆大澤香奈			
司会	☆矢崎ひとみ				
ステージ・マネージャー	野沢孝広	☆坂井和彦			

部長	小澤健二郎			
マネージャー	吉野昌重	長沼美智子	加登文子	市川久美子
技術委員長	山崎了三			
技術副委員長	井上昌子			

♪ 第 27 回 (2011 年) 定期演奏会の予定 ♪

開催予定 2011 年 10 月 22 日 (土) グリーンホール相模大野大ホール
詳細は下記ホームページにて掲載致します。

相模原マンドリン倶楽部

問い合わせ先 小澤健二郎

ホームページ <http://www.geocities.jp/sagamiharamc/>